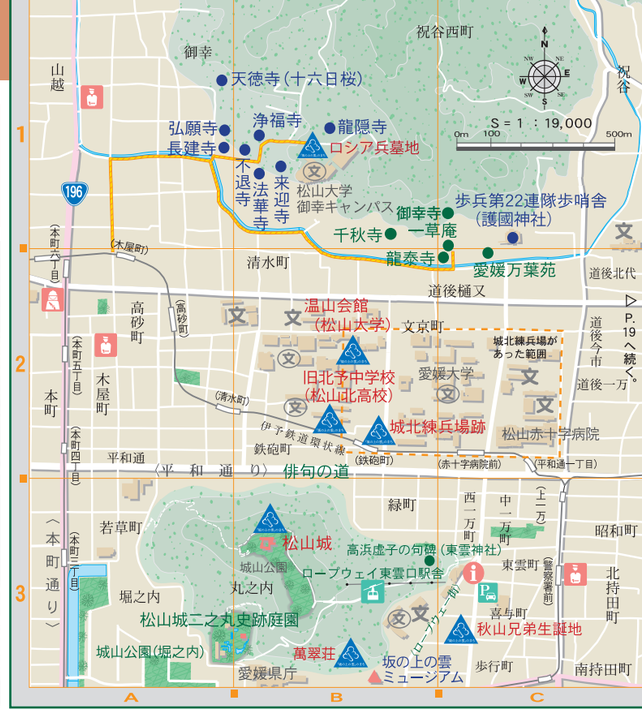
城北地区（じょうほく）



ロシア兵墓地（ろしあへいぼち）

地図 P20B1

地域住民や中学生が清掃

日露戦争時、日本で初めて松山にロシア兵捕虜収容所がつくられた。多いときは4,000人を超える捕虜を収容したが、彼らは比較的自由な生活が許され、市民との交流も多かった。異国の地で生涯を終えたロシア兵捕虜たちを埋葬した墓地は、昭和35年（1960）に今の場所に移された。現在は地域住民や中学生による清掃活動が行われている。

DATA 住松山市御幸1-531-2 ☎089-911-1863（松山市市街地整備課）
交電停木屋町から徒歩15分

俳句の道（はいくのみち）

松山らしいストーリーが延伸

県民文化会館東の「俳句の道」が延伸し、平和通り沿いにも多くの句碑が設置された。県民文化会館東通りには、道後の湯を詠んだ俳句の句碑があり、平和通りは、松山城・城北練兵場跡・古町など、このエリアにゆかりの俳句を刻んだ句碑が点在する。安全対策として歩道をカラー舗装し、歩行者と自転車の通行帯を分離。また、電線などを地中化して、周辺の景観に配慮している。イチョウの葉をイメージした街路灯も設けられて、趣きある通りに変わった。

一草庵（いっそうあん）

地図 P20C1

山頭火最晩年のすみか

漂泊の俳人・種田山頭火が、最期の1年間を過ごした庵を再建したもの。外観の見学は自由。年末年始を除く土日・祝日には庵内部が見学できる。「一草庵」の扁額は、山頭火の師・荻原井泉水（おぎわらせいせんすい）の揮毫。山頭火の句碑4基がある。

DATA 住松山市御幸1-435-1 ☎089-948-6891（松山市教育委員会文化財課）
交電停赤十字病院前から徒歩7分

城北練兵場跡（じょうほくれんぺいじょうあと）

地図 P20B2

松山の野球発祥の地

子規は松山に野球を初めて紹介した。小説では、城北練兵場で虚子が子規の野球をする姿を目撃しているシーンが描かれている。練兵場は、現在の愛媛大学城北キャンパス、松山赤十字病院、松山東中学校あたりで、日露戦争時には城北バラックといわれるロシア兵捕虜収容所が設置された。

DATA 住松山市鉄砲町 交電停鉄砲町からすぐ

明治時代の城北練兵場

旧北予中学校（松山北高校）（きゅうほくよちゅうがっこう（まつやまきたこうこう））

地図 P20B2

秋山好古が校長を務めた学校

秋山好古は、晩年北予中学校（現在の松山北高校）の第4代校長を務めた。松山北高校80周年記念館の前には秋山好古の胸像、1階の校史資料室には、好古ゆかりのコーナー、北予中学の歴史などのコーナーがあり、資料が多数展示されている。正門を入った所には北予中学校を支え、好古を校長に招いた井上要の像などがある。

DATA
住松山市文京町4-1
※校史資料室は一般開放をしていない。学校・地域等の団体の見学には事前に文書で申請が必要。

温山会館（松山大学）（おんざんかいかん）

地図 P20B2

加藤拓川について知る

温山会館2階の歴史資料室には、松山大学三恩人のひとりで子規の叔父・加藤拓川ゆかりの資料などを展示。拓川は上京した子規を陸羯南（くがかつなん）に引き合わせた人物。温山とは松山大学の前身・松山高等商業学校の創立者の一人で実業家・新田長次郎の雅号である。

DATA 住松山市文京町4-2 ☎089-926-7141 交電停鉄砲町から徒歩5分
開土・日曜・祝日を除く月～金曜の9～16時 Pなし
※見学希望の方は、事前に大学（温山会事務室）に電話を。ただし大学の一斉休暇・入試期間中は利用できません。

長建寺（ちょうけんじ）

地図 P20A1

長建寺は加藤嘉明が築城の際、軍時的見地から城の北部に寺町をつくるため、旧城下の松前からここに移した。小さいがすばらしい庭をもつ。種田山頭火、松尾芭蕉の句碑がある。

住松山市御幸1-281 ☎089-925-1751
交電停木屋町から徒歩10分

千秋寺（せんしゅうじ）

地図 P20B1

黄檗（おうばく）宗の寺で、山門の「海南法窟」の額は即非の書といわれる。山門は平成14年に建て替え。額は当時のもの。「山本や寺八黄檗杉八秋　子規」

住松山市御幸1-401 ☎089-922-2228
交電停赤十字病院前から徒歩20分

龍泰寺（りゅうたいじ）

地図 P20C2

拳骨（げんこつ）和尚で知られる物外（もつがい）が6歳の時に得度した寺。十五世文明は、松山寛政八傑僧の一人で名僧だった。入り口の太鼓橋は、花崗岩一枚岩を橋幅にして楔（くさび）形に組んだ珍しい橋。

住松山市御幸1-426 ☎089-925-2574
交電停赤十字病院前から徒歩17分

歩兵第二十二連隊歩哨舎（愛媛県護國神社）（ほへいだいにじゅうにれんたいほしょうしゃ）

地図 P20C1

堀之内にあった歩兵第二十二連隊歩哨小屋が、愛媛縣護國神社境内にある。

住松山市御幸1-476 ☎089-925-2353（愛媛縣護國神社）

愛媛万葉苑（えひめまんようえん）

地図 P20C2

愛媛縣護國神社の境内にある愛媛万葉苑は、「万葉集」で詠まれている150種のうち約120種類ほどの植物を植えた植物園。それぞれに万葉の和歌と植物の名前が添えてあり、じっくり鑑賞すると古人が植物に寄せた関心の深さに触れられる。額田王の「にきたつの歌碑」もある。

住松山市御幸1-476 ☎089-925-2353（愛媛縣護國神社）
交電停赤十字病院前から徒歩10分
P100台（参拝用駐車場）

熟田津の道（にきたつのみち）

道後温泉商店街から西へ延びる、遍路道でもある遊歩道。水路に沿って石畳が続いている。杉玉を吊った造り酒屋や町屋風のカフェ、美術館などが点在し、そぞろ歩きが楽しめる。毎月第4日曜に湯上がり朝市を開催。

地図 P19A2

街角のお宝

ここも見逃せない